

令和6年度 文京区立窪町小学校 授業改善推進プラン 第5学年

	授業における課題 (児童の実態○教師の指導上の課題)	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、事実と感想、意見とを区別し、自分の考えが伝わるように論理的に話したり書いたりすること。</li> <li>○「読むこと」では、事例や描写から筆者の考えや登場人物の心情などを細かく捉えたり、それに対する自分の考えをまとめたりすること。</li> <li>○正しい敬語の使い方の理解や漢字の習得をすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表やメモを活用して、「序論・本論・結論」を意識した文章構成が考えられるようにする。授業の振り返りで、自分の感想や意見を書く時間を設ける。事実、感想、意見の違いを伝え、区別したり関連させて捉えたりできるようにする。</li> <li>○登場人物の行動、会話、情景を区別して捉えさせ、想像力を豊かに登場人物の気持ちを考えることができるようにしていく。それらを場面ごとで比較したり、自分や他者と比較したりすることで自分の考えをもてるようにする。</li> <li>○学校生活を通して、敬語を正しく活用できるよう指導する。漢字テスト実施後に練習課題等を与え、確実な定着につなげる。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の導入では、資料から気付いたことや調べたいことを引き出し、児童の発言から学習問題を作っていくための工夫をすること。</li> <li>○調べる内容の取捨選択をしたり、学習計画に沿った内容を調べたりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習問題に繋がるような資料や、キーワード化して発言をするように促し、さらに ICT を活用し、多くの児童の意見から、共通項を見つけさせて、児童が自ら学習問題を設定できるようにする。</li> <li>○学習計画を立てさせるときに、調べる内容を明確にし、調べる時間の目安などを示し、調べる内容が広がりすぎないようにする。またインターネットを活用する際は、予めサイトを指定し、チームスにリンクなどを張り、調べる内容を精選し、教科書や資料集をもとに調べ学習が進められるようにする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題場面を把握し、図や式に表したり、求められていることに正しく答えたりすること。また、自分の考えを説明すること。</li> <li>○計算において、小数点を正しく打ったり、問題にあった答えを求めたりすること。</li> <li>○作図において、コンパスを使って長さを写し取ったり、分度器で角度を正しく測ったりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題文の数や求める部分に線を引いたり、図で表したりする活動を取り入れる。説明する時間を確保し、説明の仕方や話型を指導したりする。</li> <li>○小数点の意味や計算過程の意味などを繰り返し指導する。毎時間計算練習に取り組むなど、繰り返し学習する機会を増やす。</li> <li>○正確に長さや角度を測れるように、繰り返し練習させる。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調べたいことに対して、実験の計画を立てたり、実験の途中経過から実験内容が正しいかどうか調整したり、検証したりすること。</li> <li>○結果から考察する場面において、結果と考察の区別をし、上手く言葉に表現すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実験の計画については、既習の内容を振り返らせたり、実験の途中で振り返る時間を意図的に設定したりする。</li> <li>○結果概念と考察概念の違いを教師側からも伝え、区別できるようにしていく。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体の使い方や基本的な動きを示し、苦手意識を払しょくし、積極的に運動する意欲を育むこと。</li> <li>○運動のポイントを意識して練習を工夫させること。また、基本的な動きや練習方法を丁寧に指導すること。</li> <li>○話し合いの視点やコツの共有の仕方を理解させること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICT を積極的に取り入れ、運動のポイントとなる資料（動画や写真等）を活用したり、自分の動きを確認したりできるようにすることで運動のポイントを理解させ、日常的に親しもうとする態度を養う。</li> <li>○学習計画の前段で練習方法を提示し、課題にあった練習方法を理解させる。また、よりよい方法について振り返りの場で確認していく。</li> <li>○課題確認の時間や振り返りの時間に話し合う視点を明確にもたせられるように声かけや視覚的に分かる掲示をおこなう。また、授業の中で課題解決の時間に、互いにコツを共有できる時間を設けていく。</li> </ul>

道徳	<p>○他の考えを受け入れ、道徳的価値に対する自己の考えを表現できるようにすること。</p> <p>○道徳的価値について理解し、実生活の行動に移そうとする意欲をもたせること。</p>	<p>○児童の実態に応じて教科書以外の教材も活用したり、日常生活での具体的な場面を提示したりして課題がもてるように発問を精選する。</p> <p>○道徳的価値について自分の経験を振り返り、意見交流を通して様々な考えにふれ、価値について多面的・多角的な考えを深められるようにする。</p>
総合	<p>○自分のテーマや自己課題を選択したり、それについての多くの情報の中から必要なものを選び、まとめたりすること。</p> <p>○相手や目的に合わせて、発表すること。</p>	<p>○調べた内容から目的や発表する内容に合わせて情報を精選させる。</p> <p>○発表のモデルを示して、児童が主体的に発表に取り組めるようにする。</p>
図画工作	<p>○新しい材料や技法に興味・関心をもって意欲的に活動に取り組んでいる。題材によって児童の主体性に取り組む姿に差が出てしまうことがある。</p> <p>○表現を広げたり深めたりする活動で、発想が出にくく取り掛かりが遅い場面が一部の児童に見られる。</p>	<p>○児童が主体的に取り組めるように教材研究を行い、毎回めあてを確認する。相互鑑賞の機会を多く設定し、自分や友人の作品のよさを認め合うことができるようにする。用具の安全な管理を行うとともに基本的な技能を確実に身に付けさせる。</p> <p>○技法や材料、また内面からのアプローチの両面から、作品に対する子どもの思いが深まるよう、個々に合わせた支援を行っていく。学級担任とも連携をとり、児童の発達段階や個性を見極めて支援をしていく。一人一人の思いに寄り添った声かけを行う。</p>
家庭	<p>○技能を身に付けるために要する時間にかかなり個人差があるため、個に応じた指導を工夫する必要がある。</p> <p>○一人一人に基礎的・基本的な知識及び技能を定着させること。</p>	<p>○十分に技能が身に付いている児童には発展的な課題を用意し、苦手な児童に対しては、少しずつ区切りながら学習内容や活動内容を説明する。</p> <p>○グループ指導・個別指導などを適切に取り入れたり、分かりやすい掲示資料や実物、映像等を作成し、有効活用したりする。</p>
音楽	<p>○鑑賞の授業で、楽曲に含まれる様々な要素から、何を聞き取り、感じ取るのかを明確にすること。</p> <p>○皆で表現を高め合う雰囲気を作り、表現への意欲を引き出すこと。</p>	<p>○学習計画を立てる段階で、楽曲をしっかりと分析して、本時で学ぶべき音楽的な要素を絞り、ブレないようにする。また、学習定着のために毎時間の最後に振り返りの時間を設ける。</p> <p>○視聴覚教材を効果的に取り入れたり、友達の演奏を聴いて感想を伝え合う機会を設けたりする。また、授業の随所で机間指導や個別指導を効果的に行い、よい表現をしていた時などを逃さずに認めて音楽が好きな児童を育てる。</p>
外国語	<p>○「聞くこと」において、既習の英単語や英語表現から場面や状況などを想像しながら、文章の意味をおおむね理解すること。</p> <p>○「話すこと」において、既習の英単語や英語表現を用いながら簡単な英語表現で自分の気持ちや考えなどを相手に伝えること。</p> <p>○「書くこと」において、アルファベットの大文字と小文字の音と形を正しく認識し、四線を意識しながら正確に書くこと。</p>	<p>○教師は扱う英語表現を精査し、既習の英単語や英語表現は都度確認する。また、児童に英語を聞かせるときには動画や写真などを見せたり、デモンストレーションを見せたりすることで児童には場面や状況などを想像しやすくし、文章の意味をおおむね理解できるようにする。</p> <p>○歌やチャンツをたくさん扱い、児童に基本的な英語表現を楽しく学習させることで、児童が十分に慣れ親しんだ英語表現を場面や状況に応じて使ってみたいと思えるような課題や活動を意図的に授業の中に取り入れる。</p> <p>○BINGO 冊子を使った活動を通して、児童が楽しくアルファベットの大文字と小文字の学習ができるようにする。また教師が板書するときには四線を書き、児童が常に四線を意識できるようにする。</p>

